

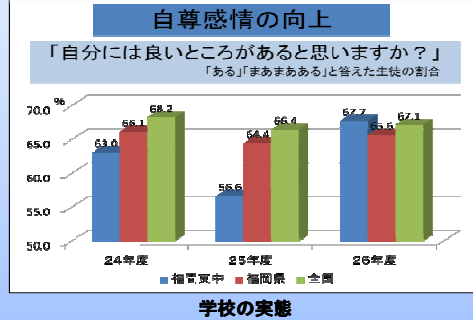
自分の良さを見つける「地域ボランティア活動」プロジェクト

取組概要

「地域ボランティア活動」プロジェクトとして、地域から得たボランティア情報を全校生徒に発信し、生徒が自主的・積極的にボランティアに参加するように促しました。「地域ボランティア活動」の取組を通して、役割を果たし、困難な活動をやり遂げる体験をし、地域の方にほめられることによって、「自分は役に立っている」「必要とされている」という実感を持たせる取組になりました。

1 学校の課題を探り

- 1年生5学級(157名)、2年生5学級(196名) 3年生5学級(168名)、全校生徒(521名)
- 職員数 30名
- 本校生徒の過去3年間の全国学力・学習状況調査(3年生)の「自分にはよいところがあると思いますか」という質問紙の結果は、平成25年度までは全国平均を大きく下回っていました。平成26年度は全国平均をわずかに上回るという結果でした。自尊心が低く、自分に自信が持てない状況から、授業での発表や意見交流も消極的となり、学習の基盤となる学ぶ意欲が低い傾向にあり、学力の向上にも影響している主な要因の一つであると考えました。そこで自尊心の高揚を図ることが喫緊の課題として捉えられました。



2 目標を立て

- ☆ 「地域ボランティア」に参加した生徒が役割を果たし、困難な活動をやり遂げる体験を通して、地域の方や保護者にほめられることによって自尊心を高める。
- ☆ 「地域ボランティア」に取り組んでいる生徒の姿を多くの大人に見てもらい、ほめてもらえるような学校・地域・家庭の連携体制をつくる。

回覧

福岡東中学校からの取組です。中学校では現在、生徒達に「夏休みの地域ボランティア活動」を推奨しています。その内容は夏の休みです。本取組にて、地域の環境や農家の健康の方々にもお知らせしております。中学校のホームページや地域の新聞、地域の紙、ボランティア活動についてお子様と話し合ってみてはいかがでしょうか。

申し込みは、7月3日(金)までに、中学校に申請書を提出するようにしています。必ず申請書に記入をお願いします。

コミュニティ・スクール福岡東中学校 校長 藤原 清貴

「ボランティア活動中」の幟(のぼり)

ボランティア活動の手引

3 鍛えて、ほめてみる

【目標設定】

(1) より多くの生徒が「地域ボランティア」に参加し、自分の良さを見つける

地域から募集した6月～3月の地域ボランティアに関する情報を生徒に発信しました。生徒は、下のような「ボランティア活動リスト」(一部抜粋)から、自分が参加したいボランティアを選び、参加申込書を提出します。生徒は、部活動の練習予定や自分の生活スタイルに合わせて、自主的・積極的に、土日や夏休み期間中の「地域ボランティア活動」を選択していきましました。

生徒たちは、参加申込書に載せている、過去のボランティア活動への参加状況と地域の方からいただいた賞賛の声をみて、地域の役に立ちたいという思いを知るとともに、「ボランティアを通じて、農業について多くのことを学ぶ」や「学習サポートでは、教え方を工夫して小学生が分かるようにする」といった個人目標をそれぞれ立てることができました。

事前に、地域の方と担当教師が打合せを行い、ボランティア活動の数日前に生徒を集めてボランティア活動の集合場所や注意事項等を説明します。活動後には報告書を提出するようにしています。

平成27年度 ボランティア活動リスト

一部抜粋

月	日	曜	ボランティア活動名	活動内容	場所	時間	人数	担当者	参加生徒	担当教師	備考	区分
6	13	土	「田植え」ボランティア	田植えの手伝い	西郷川花園	9:45～	10人位	〇〇さん		〇〇		ボランティア
6	14	日	「じゃがいも収穫」ボランティア	じゃがいも収穫の手伝い	夢農場	8:00～	20人以下	〇〇さん		〇〇		ボランティア
7	18	土	「上西郷幼稚園夏祭り」ボランティア	体験コーナー等のお手伝い	上西郷幼稚園	午後～夕方	10人	〇〇さん		〇〇		夏休みボランティア
7	22	水	上西郷小 夏休み学習サポート①	学習プリントの丸つけ 児童への学習支援	上西郷小	9:00～11:00	10人以上	〇〇さん		〇〇	希望者が募集数を越えたら人数絞りします。希望者が募集数を越えたら人数絞りします。	夏休みボランティア

ボランティア活動のリスト

【挑む】

(2) 「地域ボランティア活動」に自主的に参加し、活動レポートを書く

「地域ボランティア活動」を実施するにあたり、事前に地域の方からこの活動について話を聞く機会を設けたことによって、地域に対する思いや活動の意義を再認識することができ、生徒の意識が高まってきました。

その後、地域の要望や情報をもとにボランティアへの参加希望を募りました。ただし、参加希望数に偏りが生じた場合だけは、安全で効果的にボランティア活動ができるようにするため参加人数の調整を行いました。

また生徒が地域の方と会話をしながらボランティア活動に専念できるように、担当教師はボランティア活動が始まる前の出席確認と活動の様子の撮影のみを行い、できるだけ生徒自身による活動となるようにしました。

地域の祭りなどのお手伝いボランティアでは、「ボランティア活動中」の幟を掲げて、できるだけ多くの方にボランティアに取り組んでいる生徒の姿を見せられ、ほめてもらえるような支援体制をつくりました。その活動のようすは、学校便りや校長便り、地域回覧板などで紹介し、保護者や地域の方にも知ってもらえるようにしました。

ボランティア活動後には、参加した生徒全員が活動レポートを書き、自分の活動を振り返って、地域のために取り組んだ自分のよさに気づくことができました。



花火大会翌日の海岸清掃



陸(あ)町福まつりボランティア

【ほめる】

(3) ボランティア達成証と地域からの賞賛の声

ボランティア活動を通して、周囲の大人からの感想や評価などを聞き取っていたことを生徒に伝えたり、活動レポートを提出した生徒には、「ボランティア達成証」を渡したりして、達成感や成就感を感じられるようにしました。その中で生徒は、これからの地域参画や地域の課題について考えるようになりました。

「語ろう会」ボランティアでのお年寄りの声

○ 本当に中学生が参加してくれて嬉しかった。中学生との語らいと笑顔から元気もらい、頼もしく思った。また来てほしい。

「若木台夏祭り」ボランティアでの自治会長さんの声

○ 公民館からテーブル・椅子などの機材運搬に続いて、やぐらやテントの組み立てなどの作業に一生涯活動していただきました。翌日の片付けまで、2日間本当にありがとございました。

ボランティア達成

年 組

活動内容: 「竹灯まつり」飾り付けボランティア

あなたは上記の通り平成27年度「秋季ボランティア活動」において、地域に貢献しました。今後もさまざまなボランティア活動に取り組まれることを期待します。

平成27年11月24日
福津市立福岡東中学校 校長 藤原清貴

ボランティア達成証

4 成果

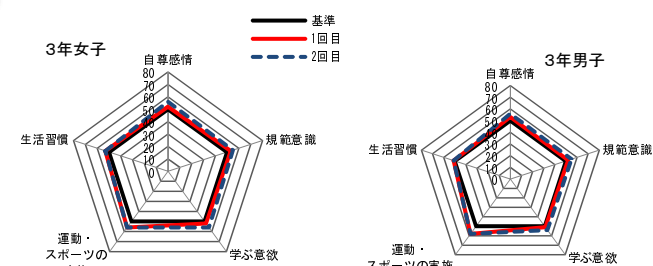
- SRT調査結果から、「3年生の自尊心」「学ぶ意欲」が3～4ポイント上昇しました。
- 生徒が自主的に参加した「地域ボランティア活動」で、いろいろな体験を積み、多くの大人にほめられたことによって、授業の交流活動やその他の活動も意欲的に取り組むようになりました。

5 ココがポイント!

① ボランティアは強制ではなく、自主的な参加を求めることが大切!
生徒自身がやりたい、できるボランティアを選ばせることで、困難な事でも乗り越えることができ、成就感、達成感が増しました。

② 周囲の大人が見守り、評価する環境づくりが効果的!
見守られているという環境づくりにより、生徒が自信をもって挑戦するようになりました。また、大人が評価することで、自尊心が高まり、自己有用感が持てるようになりました。

SRT尺度ツール結果



生活習慣、規範意識、学ぶ意欲、運動・スポーツの実施